

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

昭和55年12月22日 第36報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Melosira italica</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	120		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	2060	◎	○
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	160		
(渦) <i>Glenodinium</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	540	○	
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	240		
(緑) <i>Oocystis submarina</i>	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	160		◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	2420	64.7	28.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	1.1	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	4.8	10.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1100	29.4	60.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3740	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	2.93E+06
種類数	12		

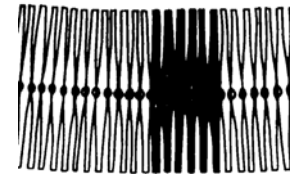
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Fragilaria crotonensis</i>	2060

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Tetraspora lacustris</i>	540

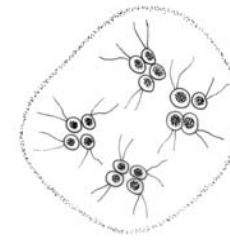
### 植物プランクトン第1優占種



***Fragilaria crotonensis***  
(オビケイソウ)  
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあつて、帯状の群体を形成して浮遊する。

### 植物プランクトン第2優占種



***Tetraspora lacustris***  
(テトラスポラ)  
緑藻綱

細胞は4個ずつ規則正しく配列し、中空の球体をなす。2本の偽せん毛を有する。